

ルックルック！

丹後町の人口

	R7.10月末	前月比
0-14歳	308	△1
15-64歳	1,927	△3
65歳-	1,981	△2
計	4,216	△6



←丹後市民局NEWSの
バックナンバーはこちら

丹後町内の新コミュの動き

新たな地域コミュニティ（新コミュ）の取組が今年度から本格化し、丹後町内では4組織が取り組んでいます。今号から2号に渡って各団体の新コミュを紹介します。

※新コミュとは？

行政区を超えた広域の範囲で連携し、若年層や女性など多様な方を巻き込みながら多彩な活動に取り組むことで地域課題の解決に取り組む組織または活動のこと。

間人区は7地区で連携して新コミュに取り組んでいます。

間人区では、中里佳史地域おこし協力隊や同志社大学（夢まち創り大学事業）と連携し、関係人口を増やすための取組を行っています。中里さんの呼びかけて京丹後市内の地域おこし協力隊が協力して開催した「まるっぽ間人か～にバル」や地域に定着しつつある「間人ミュージックカフェ」を共催しています。

また、京丹後市の地域版ふるさと納税制度を活用し、間人弁Tシャツを作成しました。秋祭りでは返礼品のTシャツを着て屋台を担ぐ人もあり、少しずつ取組の成果が表れています。



間人弁（だんにや～）
Tシャツを着て屋台を担ぐ



12月6日（土）の開催で5回を数え、定着しつつある間人ミュージックカフェ。
毎回趣向を凝らしたスイーツが提供されます。
次回は令和8年3月に開催予定とのこと。



11月23日（日）に開催され、約1,500人が訪れたまるっぽ間人か～にバル。
京丹後市内の地域おこし協力隊ブースではシルクスクリーン、市海業水産課のブースでは貝殻アクセサリーづくりなど体験ブースも充実。会場内にコッペちゃんも登場し、大漁旗を背に記念撮影に応じていました。



豊栄地域では「豊栄まちづくり協議会」が新コミュに取り組んでいます。

豊栄地域では、令和4年度に豊栄まちづくり協議会を立ち上げ、新コミュの動きが始まりました。活動方針として「豊栄地域ビジョン」を策定し、豊栄フェスタやe-スポーツ大会、今年度から新たにオープンカフェを開催しています。



11月16日（日）に旧豊栄保育所で開催された豊栄フェスタ。来場者は児童や各種団体の作品展示やコーラスなどステージイベントを楽しみました。屋外ではキッチンカーや地元豊栄産野菜の直売所が設けられていました。



今年度から新たな試みとして始まった月に1度のオープンカフェ。地域を問わずにいろいろな人が集まりおしゃべりを楽しんでいました。写真は9月26日（金）の様子。8月に開催されたお絵描き教室の講師であるイラストレーター金沢まりこ氏の作品が展示されており、色彩の鮮やかさが話題になっていました。



11月30日（日）に開催された豊栄フェスタe-スポーツ大会はNintendo Switch 大乱闘スマッシュブラザーズ SPECIALで技を競い合いました。今大会で3回目の開催となり参加人数が増えたことから、小学生の部と大人の部に分かれて開催されました。大人の部では中学生が優勝しました。

丹後町の課題を京都府へ要望（京丹後市丹後町区長連絡協議会）



11月25日（火）、京丹後市丹後町区長連絡協議会（会長：佐々木明彦下宇川連合区長）が、京都府丹後土木事務所長に対して要望活動を行いました。同協議会が毎年実施しているもので、町内の国府道や河川、海岸などの整備や保全等について現状や課題を伝えた上で、早期の事業実現について要望しました。